

優しさから優しさへ 心と身体はおぼえている

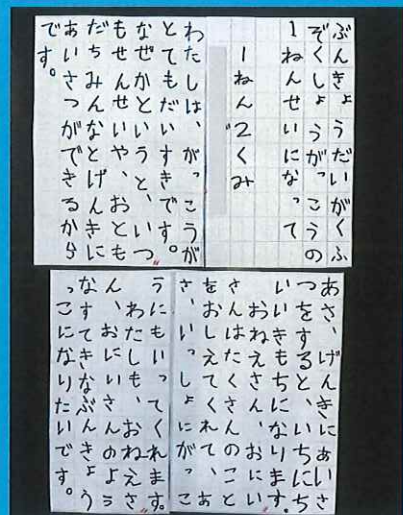
～子どもたちの優しさの連鎖～

校長 島野 歩

7月、文月。1年生の朝顔が花盛りです。そして、正門から少し入ると2年生の野菜たちが豊かな実りで私たちを出迎えてくれます。こつこつお世話を続けた子どもたちの頑張りの結晶。すてきな1学期末を迎えています。

先日、学校説明会に来てくださった年長のお子様が、「今日もね、6年生のお兄さんお姉さんに会いにきたの。みんな優しくしてくれるから、大好き！」と嬉しいお声を聞かせてくれました。本校の学校説明会では、全体会の際に未就学のお子様を6年生の子どもたちが一緒に遊び触れ合う、という伝統があります。令和7年度第1回のときは、「楽しく遊べるかな」「飽きちゃったらどうしよう」と緊張した面持ちだった6年生も第3回を迎えた先日は、もう余裕の表情。・・・手をつなぐ仕草も微笑ましい。なんて優しいのでしよう！そばで見ている私までにつこりしてしまいました。

温かいキズナが伝わってきます。



日常的な生活から、縦割りで動くことの多い本校では、誰もが上の学年から、お世話してもらったり、助けてもらったりを経験して大きくなっていきます。優しくされたことは心と身体がしっかり覚えていきます。優しさの経験が優しさを生み出していくのです。

先日は、幼稚園の年長さんが1年生の教室に遊びにきました。普段はお世話されている1年生が、素敵なお兄さんお姉さんです。その頼もしい姿ときたら！！小さい子たちに膝をついて目線を合わせお話する姿に胸があつくなります。「優しさから優しさへ」これからも優しさの連鎖を育んでまいります。

1学期末を迎え、1年生もすっきり
「文教っ子」です。たのしいです。



「東京2025世界陸上」開催にあたり バトンの寄贈をいただきました！

このたび、東京世界陸上財団より、
リレー競技で使用する「 Baton 」の寄贈を
いただきました。感謝です！

寄贈いただきました Baton は全部で8本。
本校は、4コースありますので、そのうちの4本は
今後、体育ならびに運動会等で使わせていただき、
残りの1本は、陸上競技大会で使用する、
残りの3本は、東京2025世界陸上の観戦記念として
校内に展示させていただきます。



東京2025世界陸上財団からのメッセージ

バトンは リレー競技での重要な道具であり
信頼と協力を象徴するものと考えます
この Baton を手に

こどもたちが陸上競技の楽しさやチームワークの大切さを感じ
より一層スポーツに親しみを持っていただけることを心より願っております

そして
東京2025世界陸上が 未来を担うこどもたちに
多くの感動を届け
成長や変化のきっかけになることを期待しております

1学期 TOKYO GLOBAL GATEWAY

We enjoy speaking English!

6月3日(火)には5、6年生が、6月6日(金)には3、4年生が、令和7年度第1回 TOKYO GLOBAL GATEWAY へ出かけてきました。All English の一日に、日ごろ学んでいる英語の力を試すには絶好の機会です。通じるとうれしい！通じないとくやしい！コミュニケーションツールとしての「英語」がここから日常のモチベーションにつながることを願っています。

一人一人与えられる細かなミッション。英語でできるだけ詳しく状況や希望を伝えてミッションをクリアしていきます。とても「どきどき！」でも不思議と「わくわく」…さまざまな生活の場面の設定で、「使える英語」「話せる英語」を目指していきます。

どんどん話そう！
English！
楽しくなる！
わくわくする！



「AERA English」から取材いただいた本校の記事が
このたびも昨年度に引き続き3ページにわたり
掲載が予定されていますこと、ここにお知らせいたします。(7月発売予定)

災害時に役立つ防災セット

父母の会の皆様より

各教室、各特別教室に、総計 20 個の防災セットをご寄付いただきました。

これまで以上に、子どもたちの生命と安全を守るべく

学校の総力をあげ、防災意識を高めてまいります。

ありがとうございます！

「何があっても子どもの生命を守り抜く覚悟」をもって

災害は、いつどこで起こるかわかりません。

大切なことは、日頃から「備える」こと、
そして「何が起こっても防災アクション」
がとれることであると考えます。

学校として、いつ何があっても
「必ず子どもの生命を守り抜く」
心構えと覚悟をもち、今後も
組織的に防災に取り組んでまいります。

このたびの父母の会のご寄付に
心から感謝申し上げます。



防災セットの中身

照明		寝具・防寒		衛生用品			
 懐中電灯ランタン (乾電池別売) (各3-2本使用)		 エア枕 2個		 携帯トイレ 3個 × 2セット	 絆創 2個	 歯ブラシ 3本 × 2セット	 ティッシュ
食事		移動		その他			
 カップ		 レインポンチョ 2個		 タオル 2枚	 ソックス 2枚	 EVAサンブル 2枚	 ホイッスル 2個
 スプーン 3個		 ラバー手袋 2セット		 簡易用具セット	 防水スマイル 2枚	 カッター・アイフ	 2WAYドライエ

こちらに加えて

① 保健セット

② 名簿

も、災害時に
持ち出します。

本校の通知表 所見について

コンセプト

「学びを子どもに返す！」

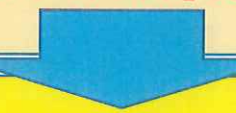
令和5年度までの本校の通知表は、どちらかというと「教師側」からの発信であり、
子どもたちにとっては
「インプット」する受動的な存在、それが「通知表:あゆみ」でした。



しかしながら、**学びや評価はもっと能動的であっていいと考えます。**

子どもたち自身が、評価をどう受け止め、
それを今後はどうつなげていくのか、

自分自身で考え、「じぶんごと」として「アウトプット」できる通知表にしたいと考えました。



そこで、令和6年度からの通知表を以下のように改訂しています。

- 今まで担任が記録していた所見を「**1年間の子どもの成長の記録・今後の課題の記録**」と位置づけます。
- 上記の位置づけから
 1. 2学期は所見はありません。今までの所見スペースには、子どもたち自身が学びの振り返りを記入。所見に代わるものとして、日々の主だった成長や課題は**コドモン**にて必要に応じて個々にご連絡します。
 1. 2学期の個人面談は、**必須面談**といたします。(オンライン可)3学期は、**希望個人面談**。(従来通り)
 - 3学期は所見があります。**1年間の子どもたちの成長や課題を今後につなげるよう担任から発信します。**
- 通知表が形骸的なものにならぬよう、子どもたち自身の 今後の「学び」の励みとなりますよう願っています。ご理解の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

こちらの欄に、今回受け取った評価をみて、
今学期頑張った成果があったこと、一方で
自身の課題としてもっとがんばらなくては
いけないと感じること、学習のみならず、
生活態度も含めて、感じたこと、考えたことを
子どもたち自身で記録していただきます。
提出は、学期明けとなります。

7月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
		1教員午後研修 B時程3校時下校	2 4年南極クラス	3 七夕まつり	4 みたまま祭り 文教まつり	5 休業日
6	7 個人面談13:00～16:00 B時程	8 4年服のチカラ	9	10	11	12 終業式
		オーストラリアファミリー		オーストラリアファミリー		
13	14 夏休み(～8月25日) 4, 5, 6年夏季補習	15	16	17	18	19
20	21 海の日	22	23	24	25	26
	オーストラリア短期留学(19日～26日)					
27	28	29	30	31		

7月の生活目標

重点目標〈文教っ子八ヶ条 第4条 人のせいではなく、自分で責任がもてること。〉

◎ 言葉づかいに気をつけよう

- ・相手を思いやった言葉づかいをする。
- ・電車内で周囲に迷惑をかけない。
- ・ハンカチとちり紙を身に付け、手洗いをする。

◎ 登下校のルールとマナーを守ろう

- ・その場にに応じた正しい言葉づかいをする。

◎ 言葉でけんかにならないためには 〈文責：教頭 田中 宏一〉

気持ちを伝えるって難しいですね。マスクを外し、表情が見えるとなおさら、うまく気持ちが伝わっているか不安になることが多くなります。私は相手に、気持ちが伝わりにくいと思うことも幾度とあります。今までにも、その場を和ませるために笑顔を見せると、「真剣に話しているのに笑わないで」と言われたことも何度もあります。気持ちを相手に伝えるということは本当に難しいことだと思います。

ところで、みなさんは、お友達から、「今日は遊べない。」言われたら、どんなことを思いますか。『なにか用事かな。』『忙しいんだな』と思う人がいるでしょう。『誰かと約束していたのかな。』と思う人もいるでしょう。なかには、『なんか、避けられているのかな。』『嫌われているのかも』『怒っているかな』と思う人がいるかもしれません。言葉を、相手がどのようにとるか、人それぞれなのです。

でも、怒ってもいないのに伝え方によって、相手に『怒っているのかな』と思われるのは、さけないですね。どのように言えばきちんと相手に伝わるのでしょうか。きちんと相手に気持ちが伝わるために3つのことを意識してみましよう。

1つ目、『相手を見て、表情をつけて話しましょう』

下を向きながら、無表情でお話されても、なかなか気持ちは伝わるものではありません。【目は口ほどにものを言う】です。私は特にこれは気を付けています。

2つ目、『きちんと理由も、付け加えましょう』

「今日は用事があるから」とか「もう、違う約束があるから」ときちんと理由も話しましょう。できない約束をできると言ってしまうことは、それもけんかの原因になります。

3つ目、『相手を思いやった、言い方をしましょう』

相手は、どきどきしながら声をかけているかもしれません。ぶっきらぼうに答えることで、いらぬ誤解を生むこともあります。

私は毎年、この時期に文教っ子八ヶ条にあわせて、このことを話題にあげています。年齢や成長にあわせて、感情も成長します。「以前はそうは思わなかった」と思うことも成長のひとつです。毎年一度は、自分の気持ちに向き合ってみるのもいいのかもしれないですね。

「そんなつもりじゃなかったのに…」という、誤解から始まるけんかが起きないように、夏休みまでの12日間、相手を思いやった言葉づかいと、場に応じたあたたかい言葉づかいをして、楽しく過ごしましょう。

